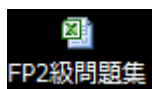


【SPM問題集の使用方法手順】

1・問題集ファイルのコピーをとる



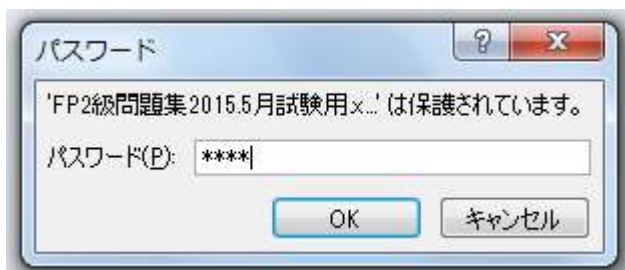
問題集ファイルは開始前に必ずコピーをとって、保存しておきます。そうすれば何度でも繰り返し利用が可能になります。

保存方法はファイルを

- ①「右クリック→コピー」を押し、保存箇所カーソルをあて、
- ②「右クリック→貼り付け」です。

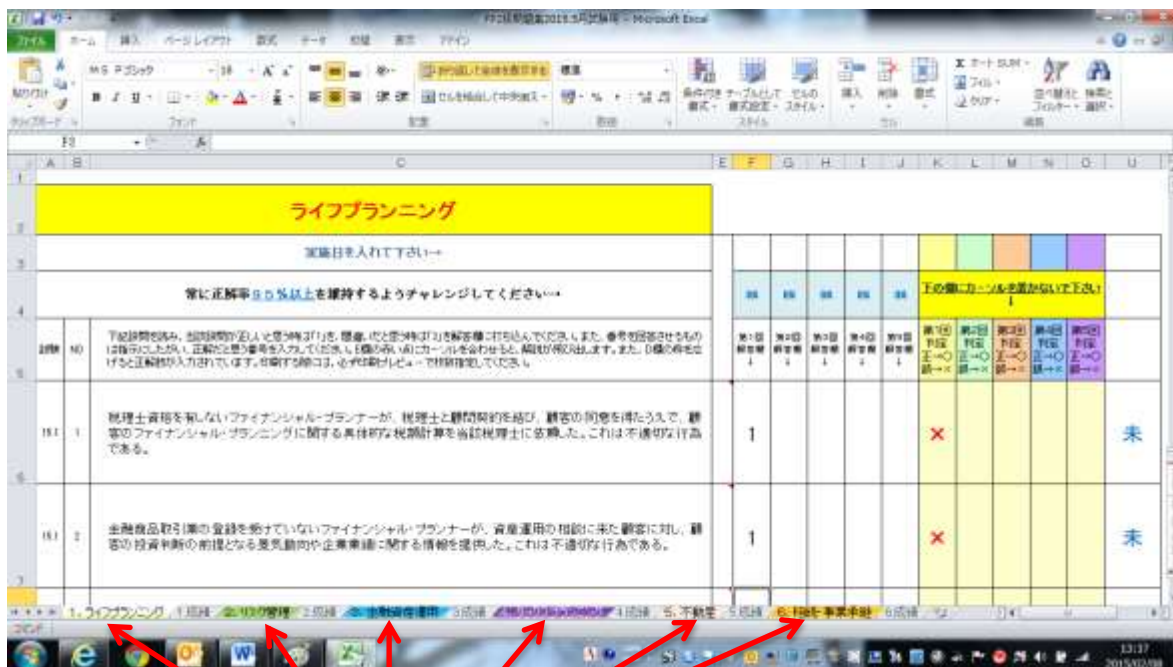
2・【問題集の開示方法：パスワード入力】

問題集をダブルクリックしますと、開示パスワードが求められます。こちらからご案内しています数字を半角入力します。半角入力しますと文字が隠れて****で表示されます。



3・【科目シート切り換え】

科目ごとシートに問題が入っています。切り換えは下段のシート切り換えを行います。



クリックして科目の切替を行って下さい。

4・【回答入力方法と解説の見方】

設問は直近の過去問題です。新しい回の試験問題から順番に並んでいます。どのような設問が頻繁に出題されているかを把握いただくため、敢えて全問を掲載しております。中には全く同じ問題が繰り返し出題されていますが、そのような問題こそ、最重要な問題です。それをご自身で確認して下さい。

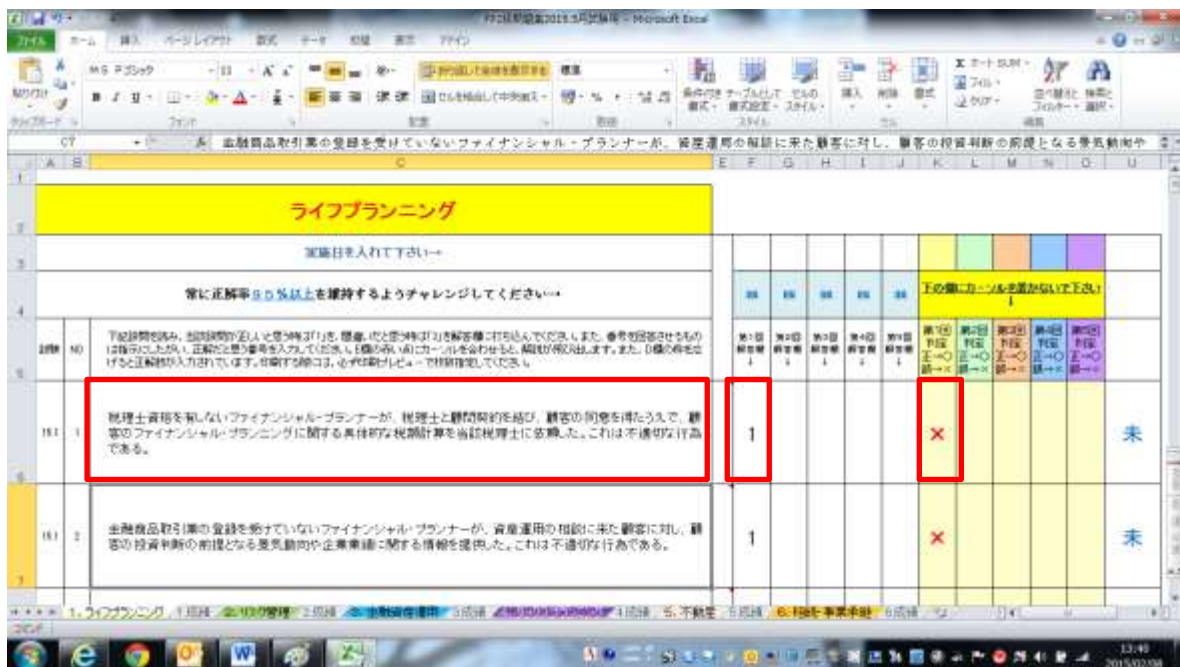
設問を読み、その内容が正しいと思う場合には解答欄に「1」を入力し、エンターを押して押して下さい。間違っていると思う場合には解答欄に「2」を入力し、エンターを押して下さい。

あなたが判断した答えが、正しい場合には○が、間違っている場合には×がすぐに判定されます。

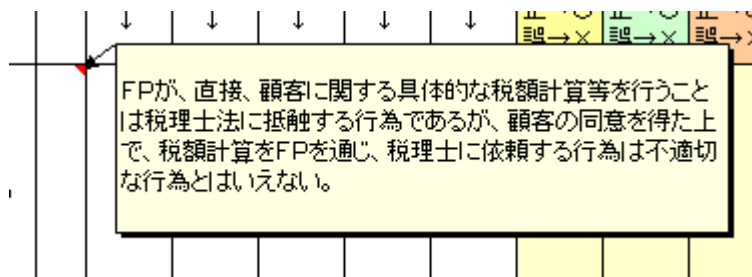
例：下記画面では、設問内容が正しいことを述べていると判断し、あなたは「1」を入力しました。

しかし、あなたの判断は間違っていました。よって、×が表示されました。

この設問内容は間違っているのです。ですから、あなたは「2」を入力すべきだったのです。



間違ってしまった問題については、解説をお読み下さい。解説は設問右隣Eセルにカーソルを軽く当てると飛び出します。



問題集は事前に決めた問題数を一気にやってください。1問ずつ解いては、その都度、解説を見て確認することは良い勉強法とはいえません。時間がかかります。一通りやり終えた後に、間違った設問の解説を読んで、意味や内容を確認し、その後、すぐに2回目、3回目と進んでいただくのが良い勉強法です。

同じ日に同じ箇所を連続3回繰り返しますと、記憶力が増幅する効果が得られます。

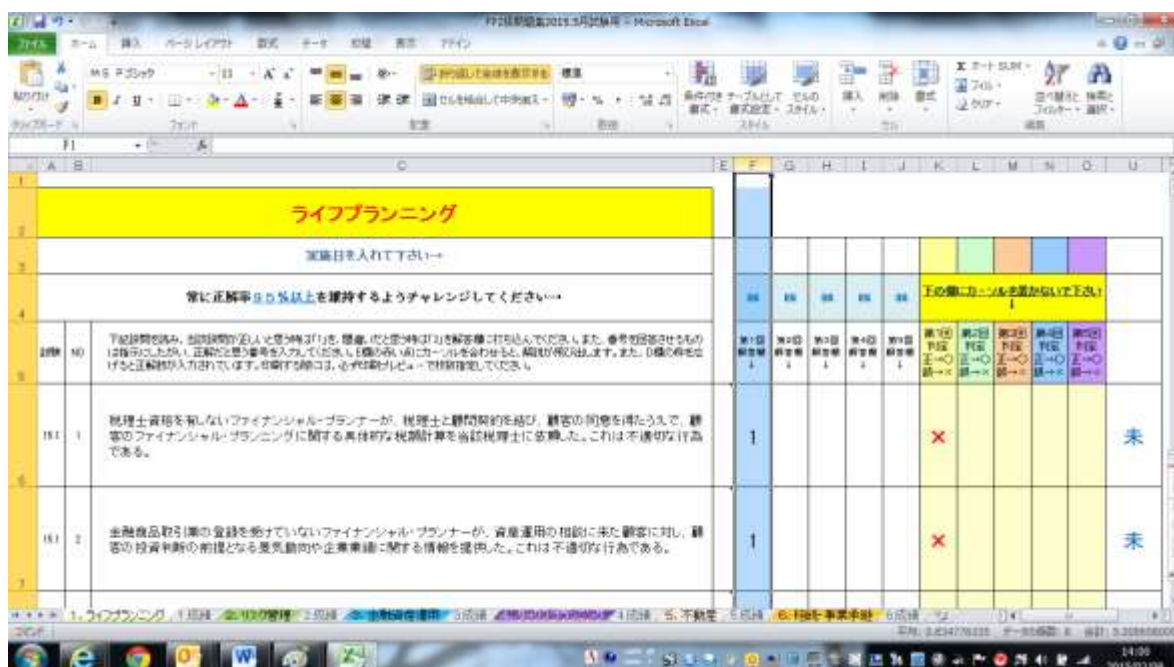
5・【前回の回答セルの非表示】

2回目以後の回答では、前回、あなた自身が入力した回答が見えてしまっています。

よって、この前回の回答を「非表示」にしなければ意味がありません。

非表示にしたい縦セルのアルファベット（F G H I）の文字上で「右クリック」→「**非表示**」を選択して下さい。選択セルが非表示になります。

*** 注意：「削除」を選択しないようご注意ください。削除を選択しますとシートが破損します。**



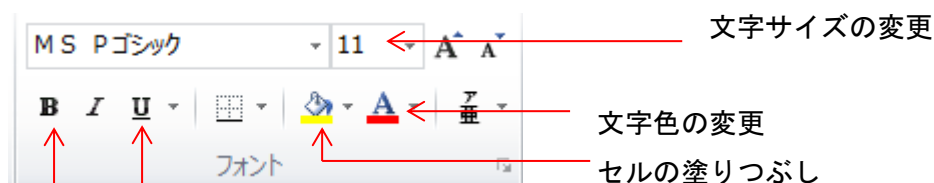
6・【再表示の方法】

非表示にしたセルを再表示する場合には、非表示とされたセルのアルファベットの両端のセルをドラッグし、右クリック→再表示を選択します。下記の場合「Fセル」が非表示されているので、Fの両隣E Gセルをドラッグして、右クリック→「再表示」を選択します。



7・【エクセルの基本機能を使う】

この問題集は Microsoft 社のエクセルソフトを利用しております。エクセルの基本機能はすべて使用できますので、画面サイズを変更したり、設問文字を太字にしたり、アンダーラインを引く等の機能も自由にできます。



太字 アンダーライン

8・【ファイルの保存方法】

学習が終了した際には、「上書き保存」アイコンをクリックして下さい。



※注意：ダウンロードしたお客様は、ダウンロード時に圧縮フォルダ内に問題集ファイルが入っています。この問題集ファイルは必ず圧縮フォルダから出してご利用下さい。そうしないと「上書き保存」をすることができません。もし、出さずにご利用してしまったお客様は、以下のように保存してください。

上記の「ファイル」お文字をクリック→「名前をつけて保存」→保存名・保存先を確認後→「保存」を押して保存してください。

その他、エクセル機能はインターネット等で簡単に検索いただくことが可能です。

実技試験は学科学習の延長のようなものです。
学科テキストで学びました計算式が出題されたりします。

具体的には以下 9 つの計算式が本番試験で与えられた
条件に応じて適用できるようにしておいてください。

- 1・所得税計算（基礎控除・扶養控除・配偶者控除・社会保険料控除）
- 2・相続税計算（基礎控除・未成年者控除・障害者控除）
- 3・退職手当金計算（勤続 20 年以上、未満）
- 4・債権利回り計算（応募者、最終、所有期間、直接）
- 5・容積率計算（住居系 4/10、住居系以外 6/10）
- 6・預貯金利息の単利・複利計算
- 7・ROE（自己資本利益率）
- 8・PER（株価収益率）
- 9・PBR（株価純資産倍率）および株価配当利回り

また、学科学習が終了しましたら、受験申込みをされました
試験機関のHP（金融財政事情研究会または日本FP協会）
から直近 3 回分くらいの実技の過去問をDLし、実際に
やってみるのが得策です。

その出題傾向を把握された上で、時間的余裕がございましたら、
それぞれの試験機関が発行している実技専用の薄い問題集をご購入
いただき、把握された出題傾向に合致した問題を中心に解いてい
ただけば、更に合格率は高まると思います。

以上